

## 日本消防協会「かんとうじゅ竿頭綬」受賞！

### 松浦市消防団

松浦市消防団（志水正信団長）が日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞し、市役所で3月20日、受賞の報告をしました。

日本消防協会表彰「竿頭綬」は、厳正な規律を保持し熟達した技能を有し、平素から消防の使命を達成することに努め、他の模範となる消防団に授与されるものです。

志水団長は、「今後も訓練に励み、特別表彰『まとい』を目指して取り組んでいきたい」と話しました。



## まちの話題

Matsuura City Topics

## 無病息災を願う、お彼岸行事

### おこぼ様

志佐町赤木地区にある落合おてやの洞窟で3月21日、無病息災を願う彼岸行事「おこぼ様」が行われました。「おこぼ様」は「弘法様」がなまったものといわれ、同地区の彼岸行事として古くから受け継がれてきました。

高さ約2間、幅約30間、奥行き約10間の洞窟には、入口に弘法大師が祭っており、奥には約40体以上の地蔵が並んでいます。

この日、ろうそくの明かりに照らされた洞窟に訪れた参拝者たちは、無病息災を祈願しました。



## 地域を盛り上げます！

3月14日の西九州自動車道今福IC開通を記念し、今福町の商店街では3月16日から22日までの7日間、松浦市今福地区準まちなか活性化事業を活用した和一処祭が開催され、期間中さまざまなイベントが行われました。

16日～21日には「今FUKU福小判を貰ってマーケットへGO!」が開催されました。期間中に参加店舗で500円以上の買い物につき小判1枚がもらえ、5枚集めると22日の「今FUKU福マーケット&朝市」で先着60人が今福井と交換ができるというものです。



### 今福和一処祭

18日には「今より福の生ずる処講演会」を開催。今福神社の早田伸次禰宜による今福今昔についての講演、今福の昔の写真が展示されました。

21日には宛陵寺で「心を清め座禅会」が開催され、住職による座禅会と前田社中によるお茶会が行われ、約20人の参加者は座禅と茶道を体験しました。

最終日の22日には「今FUKU福マーケット&朝市」が開催され、集めた小判で今福井と交換する人、安くて新鮮な野菜や果物などを買い求める人でにぎわいました。



## 優良少年消防クラブ・指導者表彰

### 養源少年消防クラブ

養源少年消防クラブが東京都で3月24日、平成26年度優良少年消防クラブとして表彰され、市役所で4月3日、受賞の報告をしました。

平成20年10月に結成された同クラブは、養源小学校の1～6年生の25人で活動。火災予防の広報活動、消防学校入校など積極的な取り組み、地域住民に対する防火意識の啓発、高揚に大きく貢献したことが認められ、今回の受賞となりました。

団長を務めた井手泰雅<sup>たいが</sup>さん(受賞当時養源小6年)は、「みんなで避難訓練を頑張りました。受賞できて嬉しい。いい思い出になりました」と話しました。



## 英語を楽しもう!

### インターナショナルムービー&ミュージックデー

インターナショナルムービー&ミュージックデーが3月25日、きらきら21で開催され、幼児や小学生、その保護者など約70人が参加しました。

この日は映画「FROZEN」(映画「アナと雪の女王」英語版)が英語で上映された後、ALTと一緒にみんなで映画の主題歌など、英語の歌を歌いました。

参加した子どもたちは、初めは慣れない英語に戸惑いながらも、すぐに大好きな映画の歌を楽しそうに口ずさみ、春休みのひとときを楽しく過ごしました。



## 市民の安全・安心を守ります

3月30日、松浦市と九州液化瓦斯福島基地株式会社(遠藤喜一代表取締役社長)は、「災害時における九州液化瓦斯福島基地内棧橋利用に関する協定」を締結しました。

この協定は、原子力災害や自然災害の発生時など、住民が緊急に船舶で避難する必要がある場合、九州液化瓦斯福島基地内にある棧橋の利用について協力を要請するものです。

また、同日、松浦市と松浦市建設業協同組合(久田弘文理事長)は、「災害発生時における支援活動(社会貢献)

### 災害発生時における支援協定締結

に関する協定」を締結しました。

この協定は、地震および風水害などによる災害発生時の初期段階において、松浦市建設業協同組合に所属する会員へ被災情報の提供や保有する資機材、技術者などの緊急出動による組織的な支援活動の協力を要請するものです。

友広市長は、「これらの協定締結により、災害時における市民の安全安心の確保の前進につながる。今後も災害の少ないまちを目指し、防災対策に取り組みたい」と話しました。

